

2 静岡の2人



成長につながる出会いは素敵！ 合コンでは「いい男」に出会えない？

「らしさ」とは演技かも？

Q 女らしさってどんなこと？

A ● 色気、優雅さ、優美、エレガント、かな？
それと、しぐさに自然に出てくるのが女らしさ。

B ● 同感です。女らしさって心の状態だと思います。

それじゃ、男らしさとは？

A ● たくましい、強い、包容力。

B ● そう、同感です。

Q 自分は女らしいと思いますか？ 点数

1 point

A ● 30点。家族からも友人からも「もっと女らしくしなさい」と言われています。たとえば、一年に一度しか美容室に行かなかった時期もあったし…。おしやれは女性の特権と思っているのに、なかなかそうできない。「いつもきれいにし

ている」のが、女らしさのイメージかなあ。

B ● 私の点数、低いです。第一印象は女っぽいと言われるけれど、自分の中には女っぽくないところがあります。性格はサバサバしてるし、あきらめもいい。親しくない人の前では女らしく振舞ってるだけ。

忍耐はイヤ 価値観を共有したい

Q 理想の結婚相手は？

A ● はい！ たくましい人がいい。

B ● 価値観を共有できる人がいい。結婚ってある意味自己犠牲を伴うと思うから奪い合うのではなく互いの欠点を補い合える人が理想です。私、死ぬまで添い遂げることを目標にしたいんです。これまで歩んできた人生に終止符を打つ

て、二人の人生を歩み始める。そういう価値観を共有できる人がいい。

A ● 忍耐するような結婚生活はイヤ。認め合い、許しあう関係がいい。

B ● そう、生活を一緒に楽しめる相手が理想です。

A ● 世の中には不倫もありうることだけれど、自分の夫にはしてほしくない。私も絶対にしません。

B ● 不倫したら結婚した意味がなくなっちゃうよね。

Q 出会いのチャンスという？

A ● 職場。職場結婚が多いと思います。それから合コンかなあ。合コンでは男性から声を掛けてほしい。掛けてくれるまで待ちます。

B ● 私も、声を掛けてくれるのを待ちます。

A ● でも合コンで、「あっ、この人！」と思う男性に会ったことはないですね。(笑)

Q 好かれるより、好きになるほうがいい？

A ● 恋愛なら追いかけたいけど、結婚なら追いかけるほうだが、結婚してから幸せだと思います。

B ● 相思相愛がいいです。結婚してからもますます私を愛してくれる人がいい。結婚して子どもができる、「お父さん」「お母さん」と呼び合う人がいるけど、あれはイヤです。

A ● 子どもができるけど、女ではなく母になるというけれど、私は好きな人のためにずっと女性であり続けたい。結婚して寝室が別なんて考えられないです。
B ● 私も同じ部屋で眠りたい。私の母は、朝いちばんに化粧して、夜は夫が寝てから化粧を落とす人でした。今はベッドの中から「いつてらっしゃい」って言ってますけど。(笑)

誰かに必要とされること 意思を失わないこと

Q しあわせな気分になれるのは？

B ● おいしいものを食べてるとき。家族や友人と過ごす時間。いま、一人暮らし

特集 **彼と彼女のリアル**

なので実家は奈良県、静岡在住4か月
特にそう感じるのかも知れない。

A ● 休日の前の晩が、いい気分。今夜は目
覚ましを掛けずに眠れると思うと、幸
せ。早朝目覚めて、あと時間眠って
いいんだと思う瞬間も幸せ。

Q 生きてる充実感を感じるときは？

B ● いい出会いがあったとき。年齢と
もに自分を成長させていくためには、
人との出会いが大切。成長につながる
出会いって偶然だけど、必然でもある
と感じます。

A ● 誰かに必要とされているとき。それ
に応えられる自分が、すごく幸せだ
と思う。

B ● わかります。その気持ち！

A ● あとは、目標としてたことをやり遂
げたとき、仕事でも私生活でもそう感
じます。やりたかったことや夢がかな
ったとき。

Q 「自分らしく生きる」とって、どんな生き方
だと思えますか？

B ● 自分の長所を生かして生きるることか
な。でもそれは、自分の好きなことだけ
して生きることではありません。

A ● 自分の意思を失わずに精一杯生きる
ことだと思っ。

Q いま自分らしく生きてますか？ 点数

にしたら何点くらい？

B ● 90点。毎日喜びがあるし、楽しい。いい
出会いがある。自分で喜ぶ方法を探し、

自分で選択してきて今の自分があると
思っています。

A ● 私は、50点。まだ未知な部分がいっぱ
いある。たとえば、自分に合う仕事か他
にあるかもしれないと思ったりします。
だけど、広い世界を知るために一歩踏
み出す勇気はあります。

Q 兄弟姉妹は？

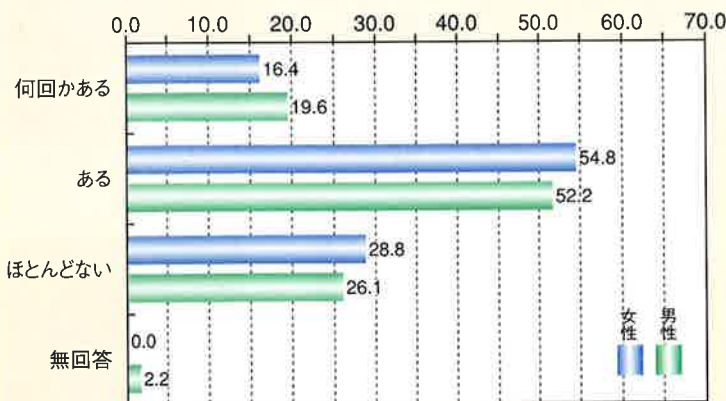
B ● 弟一人です。弟は24歳で結婚 幼稚園
に通う双子の子どもがいます。

A ● うちも弟一人です。

B ● うちの家族はすごく保守的な考えで、
家族は結婚後も近くで暮らし、娘は遠
くにやらない主義だけど、私は「糸の切
れたタコ」「鉄砲玉」と呼ばれてました。
親いわく、「姉と弟、反対だったらよか
ったのに」。もう、私のことはあきらめ
てるみたい。でも、自分がしっかり暮ら
せば、親も安心してくれると思っていま
す。



これまでに、真剣に誰かを
愛したことがありますか？



「ある」の比率が男、女とも5割を超え、第一位。次に「ほとんどない」の回答数の比率が大きく、男女とも3割弱となっています。

なお、「何回かある」は、男女とも2割未満となっていますが、「ある」という回答数と合計すると、男女とも7割を超えていることとなります。

また、男女別では比率にあまり差はありません。

Q 恋愛は結婚が前提になりますか？

B ● 結婚を視野に入れてます。恋愛だけ
で終わらせたくない。親は、「男なら誰
でもいいから、早く結婚してくれ」と言
っています。

A ● 男性と付き合うことを重く受け止め
る性格なので、適当に付き合うなんて
できない。実は、今、付き合っている人
がいて、結婚を視野に入れてます。

Q 専業主婦になりますか？

A ● 専業主婦は望みません。正規雇用で
いられるかどうかかわからないけど働き
続けたい。

「ちょっとひとり」
生き方はとても「主体的・意志的」な
のに、「男性からの声かけを待つ」と
いうのは、そのほうが有利だからで
しょうか???

B ● 私は、彼が望むなら専業主婦になり
ます。私自身は仕事が好きだけど、一
家の長の彼の意見を尊重したい。どこ
へでも、ついて行きます。



仕事はマジメにやってる 人間関係がカギかなあ？

もらえる賃金は
人それぞれで…

Q今の仕事を選んだのは？

A●友達の親が社長をやっている会社に、紹介で入りました。

B●最初に僕が入って、後からAが入社してきたんです。

A●だから、選んだ理由は特にないけど、今の仕事は自分に合っていると思います。

B●僕は、いまでも続けているけど、Aは転職したんです。でも同じ系列の下請けで同じ仕事をしている。

A●解体の仕事ですけど、自分のペースでできる。基本的に一つの現場を一人で担当するんです。だから、自分の判断で進められるし、自分なりに工夫もできる。

B●それに給料も悪くない。朝から夕方までが基本ですが、残業も保証されていて、

同じ年の友達と比べて多くもらっているし。

C●働きた当初、ぼくはA、Bとは給料の額がかなり違ってましたね。美容師は、最初は見習い扱いなので。この職業を選んだのは、自由な感じがいいと思ったから。服装とか身だしなみとか、それに、手に職をつけたいという気持ちもありましたけど。

仕事は好き

でも上の人の考えかたは…

Q今の仕事に満足しているわけですね。

A●仕事は、マジメにやっています。仕事だけは(笑)。

B●僕も、同じ。

C●ほんと、マジメにやってる。

B●仕事的には好きですけど、会社や上の考え方や人の使い方には、不満を感じる

ことがありますね。

A●僕が転職したのは、やっぱりそのあたりが原因ですね。今の会社では特にないですけど。

C●僕も店を変えています。店長と考え方が合わなかったから。

A●人間関係は大事ですよ。Bは仕事を教えてくれた人と合わなくて、神経性胃炎になったことがあります。

C●前の店は、店員同士のつき合いが薄かった。今の店はすごく居心地が良いんです。

A●あと、しょうがないんですけど、どうしても職業病になりますね。僕は腰痛持ち。いまも、ズキズキしています。

B●僕も、ぎっくり腰をやっています。あと工事の騒音で難聴になっちゃいました。時々周りで話していることが聞き取りにくいんです。

C●美容師の仕事は好きです。今の店は雰囲気もいいし。美容師は基本的に「個人の仕事」で、芸術家的部分がある。

A●僕のほうは、男の現場ですから仕事はキツイですよ。気を抜いたら大けがをします。最初におおまかに教えてくれるだけで、後はやりながら覚えてきました。

C●美容師も教えてもらうというより、自分で見て覚えていくものですね。

むかしはナンパも
ポイントが「楽しい人」

Q幸せを感じるのには、どんなときですか？

A●友人といるとき、恋人といるときですね。

B●僕もそうですね。

C●僕も同じです。

A●恋人っていうのは、希望ですけどね。家族は思い浮かばない。遠くに離れて暮らしたことがないから、いるのが当たり前で、ありがたみとか感じていないのかも。

Q異性との出会いについては、どう感じますか？

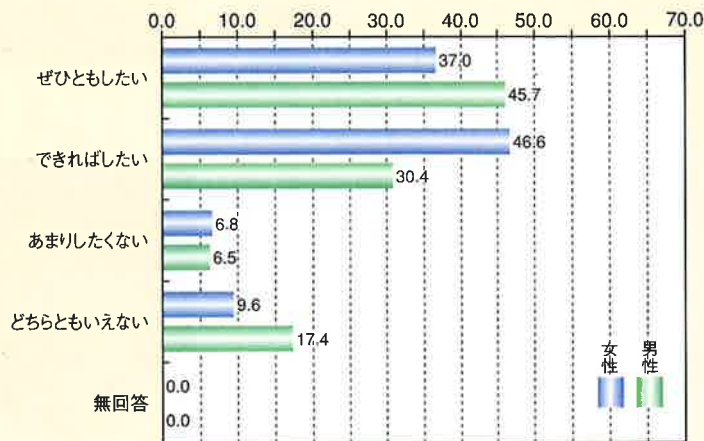
A●ないことはない、と思います。

B●そうですね。出会いは、友達からとか、職場での紹介がほとんどですけど。

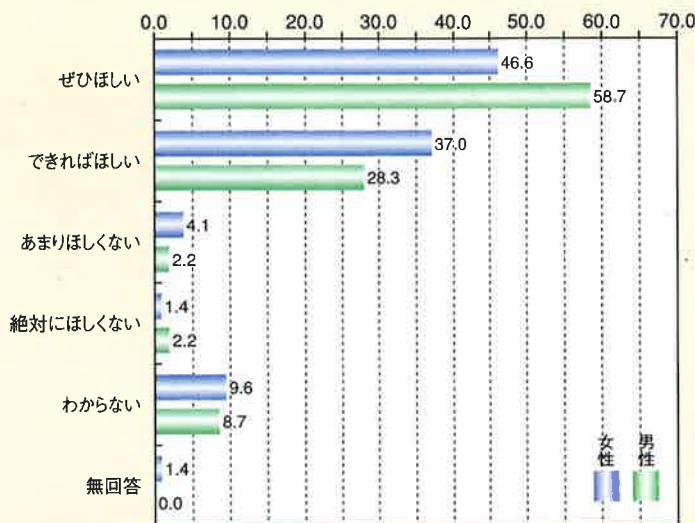
A●以前はナンパとかもしていました。B●ナンパもそうだったけど、楽しい人だという雰囲気は伝わるかどうか、出会いとかのポイントだと思いますね。

特集 彼と彼女のリアル

将来の問題として、結婚したいと思いますか？



子どもは、ほしいですか？



男性は、両方のデータにおいて、「ぜひともしたい」、「ぜひほしい」の比率が最も大きくなりました。一方、女性は、結婚については、「できればしたい」が「ぜひともしたい」を上回っています。

子どもについて女性は、男性と同じく「ぜひほしい」の比率が最も大きくなりましたが、男性よりも若干低い数値を示しています。このことから、結婚や出産に対して、女性のほうがやや消極的といえそうです。ただ、全体として肯定する比率が高く、晩婚化・少子化への強い意思は読み取れません。

「ちょっとひとこと」
 男は力だけじゃないとしたら、女もやさしさだけじゃない。固定観念にとらわれず、それぞれの個性・長所を大事にしたいものです。

がいかかなとは思っています。

C ●今のお店はすごく環境がいいので、ほかへ移ったり独立する気とかは特にないです。でも仕事柄、いずれ店頭に立つことができなくなる日が来るかもしれないとは、考えています。やっぱりお客さんとの間に、感覚とかの距離ができたなら、第一線では働けない。だからそれを思うと独立して、店長または裏方として、続けていける道を考えてたほうがいいかなとは思っています。

Qでは、「男らしくて」からイメージするものは？

- A ●守る、引っ張る、リーダーシップですかね。結婚したら、男は守る立場だと思うんです。守る対象は、パートナーというより、子どもに対してのイメージが強いです。
- B ●坊主、髭、筋肉。どれも女の人にはないものだから。
- C ●やさしい、力強い。反対の言葉みたいだけど、男は、力だけじゃないと思うから。

独立するか 安定路線でいくか

Q父親らしさはどうですか。

- A ●難しいですね。スポーツを教えるとか。
- B ●思いつかないです。父親に対して良いイメージがないせいかも。
- A ●僕もBも、親が離婚していて、父親がいないんです。
- B ●なんとなく、親に期待とかしなくなっています。
- A ●結婚して家庭をもったら、休みの日には、親子であちこち遊びに出かけたいなあ。
- C ●中学からのつき合いだけど、あんまり

り家のこととか、そういう話をした」とないので、よくは知らなかったりするんですけどね。

- A ●まあ、別に話に出すことでもないしね。
- B ●Cの家は理想的なんですよ。お父さんとお母さんが仲良く、お母さんはきれいだし、お父さんは面白い人だし。
- C ●そうかな…
- B ●僕は、自分の家庭のことを話せるようになったのは最近ですね。片親だと、なんか自分にとってマイナスに働く気がする。結婚とかについて、良くは思ってくれないんじゃないかと、今も考えています。

Q将来について、考えていることはありますか。

A ●すっごく考えてますね。とにかくBと一緒に独立するのが夢。けどそれにはお金がいるし、今はそのためにどうすればいいか考えている最中です。

B ●そうですね。ほくもそのために、同業の人たちに顔を覚えてもらったりします。お金も貯めたりする必要もあると考えているけど、本当に具体的にどうしていくかまで考えはいいっていいです。仕事をしていくには「通り」と思う。仕事の力は認めてもらえないけど、安定という点で今の会社に残るか。自分たちで独立して仕事をしていくか。夢は絶対独立ですけれどね。



男女差別？ 役割分担？ 流されたくはないけれど……

「らしき」ではなくて
「役割分担」かな

Q「男女共同参画」という言葉を聞いた
ことがありますか？

D ●ありますね。

G ●わたしも、新聞とかで見たことはあ
ります。

E ●僕は、ぜんぜん知らないです。

C ●男女平等とかいう意味ですか。

Q「男と女は、どちらが得か」とどう
思いますか。

A ●そういうことを考えたことがない
です。どうなのかな。

C ●どちらとも言えない。時と場合によ
ってだと思っ。

D ●そうだね、映画とかガソリンスタン
ドとかは、レディースDayがあっ
て安くなるから、そういうときは女の人
はいいなと思ったりする。

E ●そういうのはなぜか、女性優遇の日
しかないんだよね。

F ●そう言われてみれば不思議。わたし
は、あんまり男になりたいと思わな
いけれど。

D ●女の人は立場が不利なので、いろ
う優遇しているのかな。

B ●仕事で考えたら、昇進とかは男性の
ほうが早いかな。自分の会社ではそ
うなだけ。

G ●わたしの職場は男性が少ないから、
そういう感じはないです。

A ●僕は、男に生まれてよかったと思
っている。女性は大変そう。結婚して共
働きだと、女の人は仕事して家事をし
て、たとえ夫が協力しても負担は女の
人にかかると思う。だから、男に生ま
れて得だったかなと。

E ●僕も男でよかったと思う。女の人は
めんどくさそう。ファッションとか化

粧とかに、気を使わないといけないし。
B ●僕はどちらともいえないなあ。男の
ほうが力はある気がするけど。

F ●わたしは、女に生まれたことをその
まま受け止めていて、どちらがいいと
か考えないです。ただ仕事上では、馬
鹿にされているようなことがあつた
りして、いやですね。

D ●良いときもあれば悪いときもあると、
僕も思う。男だからどうのこうのと
いう視点であまり考えてないね。

C ●世の中には、役割があると思う。自
分の職場で考えても、力仕事はやっぱり
男の人にはかなわない。でも逆に、
女の人のほうが良い仕事もある。そ
ういう役割分担があって、それは「何々
だから」ではないと思います。男らし
さ女らしさは必要だと思いますが、そ
れは差別というより役割分担だと考
えています。

トイレの掃除 男と女

Q男女それぞれの聖域と思われていた
職場にも、進出が進んではいませんが、
どこまで可能でしょうか。たとえば、

公共の場の男性トイレを女性が掃除
をしていることをどう思いますか。

A ●抵抗ないですね。掃除中でも平気
で中に入ります。

B ●僕も同じですね。

D ●そうですね。

A ●なんでもかな、個室じゃないから相手
が何をしているのかわかるし、とくに気
にはならないです。

Q 反対に女性トイレを男性が掃除する
としたら、どうですか？

G ●イヤですね。絶対に入らないです。

C ●もし掃除中なら終わるまで待つか、
違うところに行くか。やっぱりそこ
には入りません。

F ●入らないですね。いくらシルバーと
かの方でも、男性がいるのは気にな
ります。

A ●そうか、僕は掃除しているおばさん
は、異性として見ていないのかもしれない
ね。

B ●確かにそうだね。だから気にならな
い。若い女性だったら入らないかもし
れない。

特集 **彼と彼女のリアル**

**迷惑はかけずに
わがままに？**

Q自分らしい生き方とは、どういうもの
だと思えますか？

A●信念、ポリシー、周りに流されない
生き方。でも影響を受けて変わって
いくことも大事だと思う。

D●やっぱり周りに流されないことかな
あと、自分で決めて動くこと。

C●周りには迷惑をかけず、でもわがま
まに生きること。

B●僕も周りに流されない生き方だと
考えているけど、実際はできていな
あ。将来やりたいことがあつて準備も
進めているけど、なかなか最後が踏み
切れない。

G●わたしも、自分らしい生き方をした
いけれど、仕事が忙しすぎるとやりた
いことができなくて流されてしまう。
いまの仕事はやりたいことなんだけど、
それでもストレスとしてたまってき
ちやう。だから、たまに気分転換が必
要になります。そういうときは転職も
考えたりするけれど、仕事をこなすこ
とを納得しているときは、不満として
考えなくなります。

Q生きていてよかったと感じるときは、
どんなときですか？

E●映画や音楽で感動したときですね。

F●わたしも感動したときです。美しい
自然や星が見られたときとか。

G●家族や友達がいて、自分が必要とさ

れ、大事にされていると感じるときで
す。

C●わたしも、相手のためになったと感
じるとき、かな。

B●生きていてよかったなんて、あんま
り考えたことがないですね。

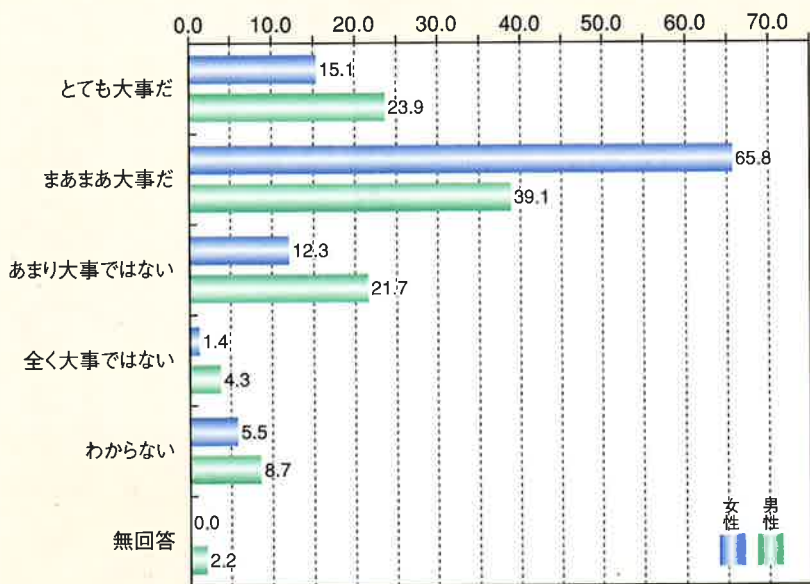
A●ごく普通に、嬉しかったこととか
いの？

B●嬉しかったこととかでいいの？

A●それだけじゃないけど、それでいい
と思うよ。僕は日常のちよっとしたこ



「男らしさ」「女らしさ」についてどう思いますか？



男女ともに、「まあまあ大事だ」の比率が第一位ですが、女性「65.8%」に対して、男性「39.1%」。と、大きな開きがあります。

これに、「とても大事だ」の比率を加えると、女性が「80.9%」であるのに対し、男性は「63.0%」にとどまります。

そして、「あまり大事ではない」「全く大事ではない」といった否定的回答で、男性の比率は、女性のそれを上回っています。

とても嬉しい、よかったと思うこと
がある。欲しかった物が手に入ったと
きとか。お菓子なんかのおまけとかで
も、欲しかった物が出ると、すごく嬉
しい。

B●欲しかったものが手に入ったときは、
確かに嬉しいね。車を買ったときは嬉
しかったな。

E●あと、女性に優しくされたときとか
も嬉しいよ。

D●公私に関係なく、「成功したと自分

で感じる時です。

A●偶然有名人を見たときとか、憧れの
人に会えたときも嬉しいね。

「ちよっとひとこと」
男に生まれても、女に生まれても、損
か得かではなく、誰もが、他人と違っ
ていても、自分らしく生きていける
ようにしたいものです。